



上天草市立上天草総合病院

地域医療連携通信



上天草総合病院理念 信頼される地域医療 基本方針

1. 私達は、患者様中心の医療をめざします。
2. 私達は、地域に根ざしたところあたたかな医療を提供します。
3. 私達は、患者様に快適で安全・安心な医療を提供します。
4. 私達は、退院後も安心して療養できる病院をめざします。
5. 私達は、常に自己研鑽に努め、医療水準の向上に励みます。
6. 私達は、健全な病院経営をめざします。

上天草市立上天草総合病院 地域医療支援部 (直通)
 電話:0969-54-7373 FAX:0969-62-1547
 住所:866-0293 熊本県上天草市龍ヶ岳町高戸1419-19
 電話:0969-62-1122(代) FAX:0969-62-1546(代)
 URL : <http://www.cityhosp-kamiamakusa.jp/>
 Eメール ; kamiama@cityhosp-kamiamakusa.jp
 発行責任者:地域医療支援部長 城野 英利



全国国保地域医療学会に参加して

理学療法士 千原 好博



令和元年10月4日～5日にかけて第59回 全国国保地域医療学会が長崎ブリックホールにて開催されました。開会式に続いた表彰式では「地域包括医療・ケアの推進」の功績が認められ、森こずえ看護部長が表彰されました。今学会は医師・看護師・リハビリだけでなく、放射線技師・臨床検査技師・介護福祉士・事務・調理師・薬剤師・臨床工学技士・ソーシャルワーカー・歯科衛生士など多職種による発表が特徴で、どれも興味深いものばかりでした。特に地域医療に関連した内容の発表では、医師不足をはじめ地域住民と患者の高齢化・退院の受け入れ先が不足している等、全国的に同様の問題点を抱えていました。そのような中でも地域包括ケアシステムの実践や病院が生き残るために、各部門や病院での新たな取り組みにより活路を見出そうと努力工夫している点が印象的でした。当院からは脇田富雄院長が口演発表、理学療法士千原好博がポスター発表を行いました。以下にポスター発表の内容を簡潔に報告します。

体組成計からみた「がんリハ」と「心リハ」患者の特徴～骨格筋量とSPPBに着目して～ ヒトは加齢により骨格筋量が低下しますが、がんや心不全などの病気により更に加速します。【評価】プロスポーツ選手でも使用されているSECA mBCAという機器を用い骨格筋量の評価を行いました。また、骨格筋量の低下や身体機能の低下で起こるサルコペニアを検査するためにSPPB (Short Physical Performance Battery ; 以下SPPB簡易身体能力バッテリー) を使用しました。SPPBはバランス・4m歩行、椅子立ち上がりテストの3項目をそ

れぞれ0～4点で点数をつけ12点満点で評価します。SPPBでサルコペニアのカットオフ値は8点とされています。【結果】体組成計での骨格筋評価では「がんリハ」患者では4/5名で少ない、「心リハ」患者では5/5名で少ないという結果となりました。SPPBは「がんリハ」患者では2/5名、「心リハ」患者では4/5名がカットオフ値を下回る結果となりました。特に「心リハ」患者でのSPPBはバランスと椅子立ち上がりテストの点数が低く、ADL低下している患者が多い傾向でした。サルコペニアを有すると要介護状態になりやすい“フレイル・サルコペニアサイクル”という身体機能低下の悪循環に陥りやすくなります。(図1) このような悪循環を断ち身体機能を維持するためには、不要な安静臥床を減らし適切な栄養摂取、筋力維持向上のためのレジスタンストレーニングが重要となります。

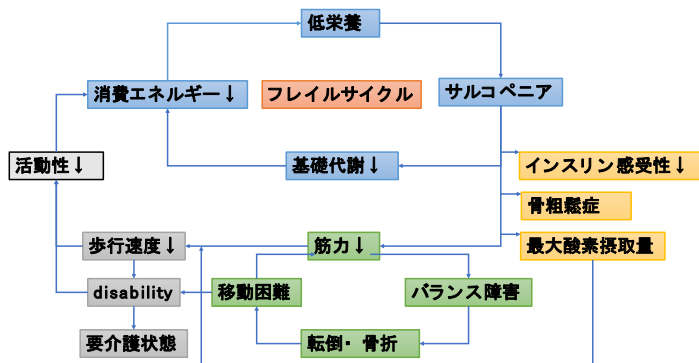


図1 フレイル・サルコペニアサイクル

学会終了後に長崎散策をしました。出島は鎖国下の江戸時代において日本で唯一交易が認められた場所です。近代医学の父シーボルトによって西洋医学が始まった出島では、歴史の流れと医療の日進月歩を感じました。ほかにも長崎は香港・マカオに並び世界新三大夜景の一つに認定されています。教会や歴史的建造物も多く、長崎は異国情緒あふれる素敵な街でした。大人の秋冬旅行に長崎はいかがでしょうか。

学会終了後に長崎散策をしました。出島は鎖国下の江戸時代において日本で唯一交易が認められた場所です。近代医学の父シーボルトによって西洋医学が始まった出島では、歴史の流れと医療の日進月歩を感じました。ほかにも長崎は香港・マカオに並び世界新三大夜景の一つに認定されています。教会や歴史的建造物も多く、長崎は異国情緒あふれる素敵な街でした。大人の秋冬旅行に長崎はいかがでしょうか。

第14回 上天草総合病院地域連携会議

地域医療支援課長 東矢 義光

第14回上天草総合病院地域連携会議が10月17日の19時より、当院6階講堂にて開催されました。今回は姫戸町・龍ヶ岳町・天草市を対象とした医療・介護の関係機関者27名と院内職員等21名の48名の参加がありました。

前半は6月に大矢野町・松島町を対象に行った内容と同様で、地域医療支援課より4月から実施している入院時支援を含めた「入退院支援について」と、5病棟より地域の皆様に有効利用をしていただくために「地域包括ケア病棟の使い方」の報告がありました。また、情報管理室より「くまもとメディカルネットワーク」の登録状況と各事業所への参加要請のお知らせも行いました。

今回の意見交換は、当院で住民の皆さんを対象に行っているタウンミーティングを参考に、5つのグループに分かれて行いました。小グループで話も盛り上がり、報告内容に関してだけでなく、日頃の連携について感じておられるご意見をたくさん頂きました。以下一部を紹介しますと、

- ・レスパイト入院や看取りの受け入れについて
- ・意思確認書について
- ・主治医変更時の訪問看護指示書の対応
- ・入院時、退院時（死亡退院含む）の連絡
- ・カンファレンスへの参加呼びかけ
- ・かかりつけ薬局への服薬内容変更の連絡、など

短い時間ではありましたが、頂いた貴重なご意見を検証して今後の地域連携に生かして参りたいと思います。

本年度の地域連携会議はこれで終了ですが、回を重ねるたびに関係者の顔の見える化も進んできていると思います。有意義な意見交換の場として、来年度もたくさんの方にご参加いただくようお願い致します。



戴帽式を終えて

上天草看護専門学校

43期生 畑 涼夏



上天草看護専門学校に入学して早、半年が経った。最初は新しい環境に馴染めるのか不安があったが、今ではクラス全体の団結力や勤勉さに誇りをもてるようになり、入学前の不安が杞憂であったように思う。この半年、何事もなく予定通りに戴帽式を迎えることができ嬉しく思う。また、戴帽式には来賓の方々や、先生方、先輩方、保護者の方々などが、私たち35名のために出席され祝福していただき、たくさんの方々に見守られ期待されているのだと実感した。

式が始まり、厳かな雰囲気の中、ひとりひとりの名前が呼ばれ山下学科長からナースキャップをいただき、ろうそくに火を灯す。そのとき、私は何とも言えない胸を震わす感覚と、看護師としての道を歩んでいくのだという強い自覚と覚悟を覚えた。さらにナイチンゲール誓詞の朗読は、この自覚と覚悟を強く胸に留め、私の今後の後押しをしてくれるように思う。このナイチンゲール誓詞は何か月も前から練習した。周りとは比べると暗唱できるようになったのは遅かったかもしれない。しかし、放課後や時間が空いているときに友人とともに練習し、言葉の意味を自分に落とし込ん

でいった。

戴帽式を無事に終え、12月には初めての実習が控えている。実習では、実際に患者さんの命を預かることになる。そのため、患者さんが何を思い、何を求めているのかを感じ取り、様々な視点から見つめ、見守り、責任と自覚をもって実習に励みたいと思う。

これからたくさん問題や困難に立ち向かうことになるだろう。しかし、そんなときはクラスの仲間と助け合い、先生方や先輩方にご指導ご鞭撻をいただき、技術や知識を身につけていきたい。また、この戴帽式のときの自覚と覚悟を思い出し初心を忘れないように、理想の看護師像に近づけるよう精進していきたい。



上天草け～な健康フェア 2019

「未来志向、健康の体験テーマパーク」

2019年11月30日(土) 10:00 ▶ 15:00

キッザニア 様々な職種の体験 子どもも大人も楽しめるよ!

特別講演「危険生物について」
国立環境研究所 五箇 公一先生

入場無料

研修会・勉強会の行事予定表

11月5日(火)	上天草地区連携講演会 「息切れを訴える心不全患者の診断と治療のポイント」 済生会熊本病院 循環器内科 兒玉 和久 先生	19:00～ 当院6階講堂
11月8日(金)	学研・基礎研修) がん疼痛をもつ患者へのケアを学ぶ ～痛みにより生じる生活への影響を理解し、 疼痛緩和のためのケアができる～	15:00～ 当院6階講堂
11月14日(木)	糖尿病教室 ・糖尿病のQ&A ・糖尿病の合併症(網膜症) ・糖尿病のQ&A(食事編)	13:15～ 当院6階講堂
	上天草地区肝炎フォーラム 「C型肝炎ウイルス駆除後の肝がんについて」 久留米大学 医学部 内科学講座 消化器内科部門 主任教授 鳥村 拓司 先生	18:40～ 当院6階講堂
11月15日(金)	心臓リハビリテーション教室 ・循環器系に作用する薬の話	14:30～ 当院6階講堂
11月21日(木)	上天草糖尿病診療セミナー 「SGLT2阻害薬 Dapagliflozinが 日本の糖尿病実地診療に与える新たな変革と期待」 陣内病院 糖尿病・循環器内科 部長 杉山 正悟 先生	19:00～ 当院6階講堂
11月22日(金)	上天草地区感染対策講演会 「実例から学ぶ院内感染対策 ～感染管理に必要な視点～」 東北大学病院感染管理室 特命教授 徳田 浩一 先生	17:30～ 当院6階講堂

医療介護関係の皆様勉強会・研修会への参加をお待ちしています。

参加申し込み・内容等については、地域医療支援課『TEL 0969-54-7373(直通)』『TEL 0969-62-1122(代表)』
までお問い合わせ下さい。

編集後記

○今月号の表紙の記事は読んでいただけましたか?サルコペニアとフレイルって最近よく耳にしますよね?サルコペニアもフレイルも、加齢に伴う機能低下を意味していますが、この2つはどのように違うのでしょうか。サルコペニアは、筋肉量減少を主体として、筋力、身体機能の低下を主要因としているのに対して、フレイルは、移動能力、筋力、バランス、運動処理能力、認知機能、栄養状態、持久力、日常生活の活動性、疲労感など、非常に広い要素が含まれています。少し整理できましたか?(城野)

11月 診療案内

※は、熊大応援医師

	月	火	水	木	金	休診日
内 科 (消化器内科) (呼吸器内科)	和田 正文 中山 剛 小林 博	溝部 孝則 和田 正文 中山 剛 ※谷口 純一 (第2・4) ※前田 幸佑 (第1・3・5)	中山 剛 小林 博 中村 太造	溝部 孝則 和田 正文 ※前田 幸佑	溝部 孝則 小林 博	
	※11/21(木)の前田医師の外来診療は休診となります。					
代謝内科	※花谷 聡子			※守田 雄太郎	※花谷 聡子	
脳神経内科				※林 広隆		
※脳神経内科の診療は、毎週木曜日午前9時から12時まで予約制となります。						
循環器内科	脇田 富雄	脇田 富雄	堀内 賢二	堀内 賢二	脇田 富雄	
小児科	船曳 哲典	※熊大	船曳 哲典	※熊大	船曳 哲典	
外科・肛門外科 消化器外科	蓮尾 友伸	城野 英利	蓮尾 友伸 ／ 大堂 雅晴	城野 英利	大堂 雅晴	
整形外科	藤松 晃一	※上原 悠輔	藤松 晃一	藤松 晃一	※徳永 琢也	11/1(金)
	※月・水・木曜日の診療希望の方は、事前にお問い合わせください。 ※毎週火・金曜日の診療開始は10時40分からとなります。					
産婦人科	姫野 隆一	姫野 隆一	姫野 隆一	—	—	
	※産婦人科の診療は、完全予約制となります。					
耳鼻咽喉科	—	※熊大	—	※熊大	※熊大	11/8(金) 11/29(金)
眼科	粟井 麻衣子	竹下 哲二	竹下 哲二	竹下 哲二	竹下 哲二	
	※第1・第3・第5水曜日は、熊大医師による診療となります。					
皮膚科	—	—	—	※尹 浩信	—	
泌尿器科	—	小川 愛一郎	—	—	—	
超音波・ 内視鏡センター	城野 英利	蓮尾 友伸	※松野 健司	※熊大	※瀧川 有記子	
歯科・口腔外科	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	
	※午後は、13時～16時30分までの受付です。					
教良木診療所 応援	溝部 孝則	中村 太造	応援	応援	中山 剛	
御所浦診療所 応援	竹下 哲二 (午前)					

※診療受付時間は午前8時30分～11時30分までです。

※脳神経外科は月2回(第2、第4水曜日)の午後2時より診療を行います。(予約制)

※診療案内は都合により変更となる場合があります。ご了承ください。